



開物成務

令和 6 年 5 月 23 日 (木) 発行

校長 津田 千由美

体験的な学習

何をするにも気持ちの良い、そして新緑のまぶしい5月が、そろそろ終わりに近づいています。5月の和名「皐月」は、田植えをする月であることから「早苗月（さなへつき）」と言っていたものを略したというのが一般的な由来のようです。

本校の5年生も、先週田植えを終えました。

前日練習の成果があったのか、例年以上にたくさんの苗植えられたと、師匠の鳥海先生からお褒めの言葉をいただきました。

どの学年でも体験的な学習が充実しており、五感を使うことで、机上の学習では得られない多くの気づきが生まれています。



日光修学旅行～6年生～

5月8日(水)～9日(木)、6年生は日光へ修学旅行に行ってきました。2日間ともあいにくの雨模様でしたが、子どもたちの意欲と元気で、厚い雲を吹き飛ばす勢いでした。

1日目の源泉めぐりの時だけは、雲の隙間からお日様がのぞき、みんなで10円玉の変化を楽しみました。野生のシカやサルに遭遇し、華厳の滝のマイナスイオンを浴び、世界遺産である陽明門を仰ぎ、日光の自然や歴史の重みを感じる分体感しました。

また、行動面でも、挨拶がすばらしいと褒められたり、時間を守って集団行動することができたり、6年生のすてきな姿を随所で見る事ができました。一回りも二回りも成長した子どもたち、修学旅行のめあてをみんなで達成しようと準備してきた成果です。



【湯元源泉の散策】

わたしの野菜～2年生～

生活科の学習で、野菜の苗を植えました。枝豆、おくら、なす、ミニトマトなどの中から、自分が植えたいものを選びました。子どもたちは、毎朝登校すると、熱心に水やりをしています。自分の選んだ野菜には愛着を感じるのでしょうか、まるで自分の分身のように大事に育てようとしています。おかげで、ほとんどの苗が根付き、連日の暖かさでぐんぐん生長しています。今度は「先生、茎がたおれそう。どうしたらいいの？」と、新たな疑問がめばえていました。

6月には、吉田島高等学校の先生をお招きし、野菜の育て方をさらに深く学ぶ予定です。

体力テスト～異学年交流～

5月中旬から、全校で体力テストを実施しています。「反復横跳び」や「シャトルラン」など、合計8種類の測定をします。

1年生にとっては、初めての体験。説明を聞いただけではなかなかイメージのつかめない運動もありますが、そこは6年生が上手にフォローしてくれています。「百聞は一見に如かず」で、ペアとなった6年生が上手に手本を見せると、少しの練習で1年生も真似をしてできるようになりました。数を数える場面でも6年生が大活躍でした。2年生と5年生も同じように交流をして、体力テストに臨んでいます。

高学年に教えてもらい達成感を得る低学年、人のために役立つ行動をして自己有用感を得る高学年…体力テストを通じて、互いにとってwin-winの良き関係を築いています。



1年生おめでとう集会

4月30日(火)朝の時間を使い、全校参加による1年生おめでとう集会が開かれました。この会の計画・準備・進行役を担ったのは、5・6年生の企画委員会です。

6年生と手をつなぎ少し緊張した面持ちで入場した1年生を、2～5年生が盛大な拍手で迎えました。プログラム4番

「1年生インタビュー」の場面では、1年生の代表の子どもたちがステージに上がり、「好きなお勉強は何ですか？」などの質問に、自分の言葉でしっかりと答えることができました。

その後は、「学校のルールクイズ」や「どこでしょうクイズ」を全校で楽しみました。

入場と同じように6年生と手をつないで退場した1年生は、どの子も満面の笑顔。子どもたちの手作り感あふれるあたたかい会となりました。



《第1回学校公開のお知らせ》

今週末5月25日(土)は、第1回学校公開日です。進級後の初めての授業参観となります。お子様の成長や努力の様子が見られる参観となるよう、準備を進めているところです。

また、午後からは引き取り訓練があります。タイトなスケジュールとなりますが、お子様の命を守る大事な訓練ですので、ご協力よろしくお願いします。

●学校公開東門開門時刻：9時20分

●引き取り者の行動開始(家を出る時刻)：12時55分

*詳細は4月30日発出のマチコミメールをご確認ください。

《令和6年度教科書展示会のお知らせ》

●展示期間

令和6年6月14日(金)

～令和6年7月3日(水)

午前9時～午後5時*ただし土日を除く

●展示会場

足柄上合同庁舎 本館5階東側大会議室B

小田原合同庁舎 2階2FG会議室

☆どなたでも、ご自由に教科書の閲覧ができます。この機会をぜひご利用ください。

わたしのひとりごと

生きていれば、誰しもイラっとすることがあります。特に集団生活の中では、自分ではどうにもならないことが度々起こります。集団の場が苦手な人ほどイライラ度が高まるのが予想されます。自分自身の感情の高ぶりに、どのように向き合えばよいのでしょうか。

私の場合は、いつもこの詩を思い出します。そして、「自分だって悪いところたくさんあるんだもの」と心の中で3回くらい復唱します。すると不思議なことに、感情がすこし穏やかになるのです。

その人のことで不愉快になったら
その人の良いところを探そう
みつからなくてもあきらめないで
一生懸命探してみよう
一つでも 二つでもいい
良いところが見つかったら その時は許してあげよう
自分だって 悪いところたくさんあるんだもの
それが一番 (「それが一番」やまもと よしき・作)

子どもの場合には、静かな場所に移動したり、深呼吸を繰り返したり、柔らかいボールを握りしめたり：などの方法が考えられます。感情が高ぶっているときには、「どうしたの?」「なんで怒っているの!」と言われても、応えることはできません。そうするとそばに寄り添ってくれる人が必要なのです。

4月から、「すてきさんの花いっぱいプロジェクト」を始めました。互いの良さやすてきな行動に出会った時、それを花形の紙に記し、幹にたくさんのお花を咲かせようという取組です。子どもたちが、毎日すてきさんの花を増やしています(2階渡り廊下に掲示中)。

人の良い部分に注意を向け観察すると、その部分が自分に取り込まれる可能性があるそうです。すてきさんを見つける活動が、自分の良さ発見にもつながるプラスの副産物を生み出してくれるかもしれません。

